

## &lt;全体分析&gt;

試験時間 2科目 150分

## 解答形式

記述・論述

## 分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・**やや減少**・変化なし・やや増加・増加)難易 (易化・やや易化・変化なし・**やや難化**・難化)

## 出題の特徴

昨年度は近年稀に見る簡単な問題が出題された。今年度は昨年度よりは難しい問題が出題されたが、例年よりは簡単な問題であった。

有機は昨年どおり I、IIに分かれていなかった。

今年度は第2問も I、IIに分かれていなかった。

## その他ピックアップ (入試改革の方向性を踏まえた目新しい出題など)

第2問で表のデータの読み取りが出題された。

第3問で久々に描図の問題が出題された。

第1問オの環状ジペプチドの立体異性体は「ハイパー東大化学」I-3問4がズバリの中。

## &lt;大問分析&gt;

| 番号       | 出題形式           | 出題分野・テーマ | 範囲         | コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)  | 難易度 |
|----------|----------------|----------|------------|---|-----|
| 第1問      | 記述、論述<br>計算、選択 | 有機       | 化学         | 環状ジペプチドの構造決定、立体異性体  | 標準  |
| 第2問      | 記述、論述<br>計算、描図 | 理論、無機    | 化学         | カルシウム化合物の反応、2族元素の酸化物の結晶構造、アルミニウムの単体と酸化物の体積比、アルミニウム錯イオンの立体構造、アルミニウムの製錬 | やや易 |
| 第3問<br>I | 記述、計算<br>選択    | 理論       | 化学<br>化学基礎 | アンモニアの電離平衡、酸と塩基   | 標準  |
| II       | 記述、論述<br>計算、描図 | 理論       | 化学         | 実在気体、化学平衡、化学反応と熱  | 標準  |

※難易度は5段階「難・やや難・標準・やや易・易」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

## &lt;学習対策&gt;

基礎力を確立するとともに思考力・応用力を養成すること。論述問題が多いので、「過去問」などを通じて、論理を明確に展開する力をつけておく必要がある。